

令和6年度 62回生 授業概要(シラバス)

科目名	日常生活援助技術Ⅰ (環境)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1年前期 令和6年4月16日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の2単元で構成される ① <u>環境</u> : 12時間 ② 活動と休息 : 18時間
担当講師名	村井 優子	所属・役職	宮古高等看護学院・専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	看護の対象の療養環境を正確に把握し、清潔で安全・安楽な環境を整え、対象が心地よく療養できる援助方法について学ぶ		
到達目標	1. 療養生活の環境を構成する要素と病室・病床の環境調整の方法を理解する 2. 清潔で安全な寝心地のよいベッドを提供するための技術を習得する		
事前学習内容	テキストの該当ページを読み、事前学習した上で授業に臨むこと ※第1回は事後学習で構わない		
成績評価の方法	・筆記試験による評価(40点分) ・授業態度、演習の参加状況、提出物の提出状況(悪いときは減点対象とする) ※「活動と休息」と合わせて100点満点中60点以下の場合は再試験の対象となる		
使用テキスト	①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第18版第3刷 医学書院 ②看護技術プラクティス 第4版第2刷 学研メディカル秀潤社 ③学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術 第1版第15刷 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)	テキスト	授業形態
第1回	環境調整の意義と援助の目的 療養環境を構成する要素	①: p10～18 ②: p10～13	講義
第2回	療養環境を調整する視点, ベッドメイキング	①: p18～21 ③: p42～49	講義
第3・4回	ベッドメイキング	①: p22～25, 476	演習
第5回	ベッド周囲の環境整備, リネン交換	①: p18～26, 476 ②: p14～16	講義・GW
第6回	臥床でのリネン交換	①: p25～26, 476 ②: p16	演習
履修上の留意点	・質問には、はっきりとした反応を示すこと ・第3・4、6回の授業は身だしなみを整えて演習に臨みましょう ・演習内容で分からないことや確認したいことは、その場で相談しましょう ・看護技術を習得できるように、授業以外でも積極的に自主練習に取り組みましょう		

令和6年度 62回生 授業概要(シラバス)

科目名	日常生活援助技術Ⅰ (活動と休息)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1年前期 令和6年5月	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の2単元で構成される ① 環境 : 12時間 ② <u>活動と休息</u> : 18時間
担当講師名	村井 優子	所属・役職	宮古高等看護学院・専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	対象の日常生活を整える援助における活動と休息の必要性を理解し、日常生活援助技術を習得する		
到達目標	1. 姿勢の基礎知識、ボディメカニクスの原理を理解し、活用できる 2. 対象の活動を促す援助の方法を理解できる(歩行の援助、体位変換、車椅子およびストレッチャーの移乗・移送) 3. 睡眠と休息の必要性を理解し、睡眠と休息を促す援助の方法を理解できる		
事前学習内容	解剖学Ⅰで学習した、筋・骨格に関連する内容		
成績評価の方法	・筆記試験による評価(60点分) ・授業態度、演習の参加状況、提出物の提出状況(悪いときは減点対象とする) ※「環境」と合わせて100点満点中60点未満の場合は再試験の対象となる		
使用テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院, 2023. 2. 看護技術プラクティス, 学研メディカル秀潤社, 2021. 3. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術, 医学書院, 2021.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	活動の意義、基本体位、活動のアセスメント		講義
第2回	廃用症候群、ボディメカニクス、体位変換の援助①		講義・演習
第3回	体位変換の援助②		講義・演習
第4回	ポジショニングの援助		講義・演習
第5回	歩行の援助		講義・演習
第6回	ベッド⇔車椅子の移乗の援助		講義・演習
第7回	車椅子およびストレッチャーの移送の援助		講義・演習
第8回	睡眠・休息の意義と睡眠障害		講義
第9回	睡眠・休息の援助		講義・演習
履修上の留意点	・演習では、グループメンバーと協力して技術習得に努めること ・演習時、ベッドからの転落や移送時の事故がないよう安全に十分注意すること ・演習時には事前に身だしなみを学生同士でチェックすること ・上記の授業概要(主な学習内容)は授業の進捗状況次第で変更の可能性がある		